

◎お申し込み・お問い合わせ

大阪大学 教育学習支援センター
http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16
豊中キャンパス 全学教育総合棟Ⅱ4階417
TEL.06-6850-5606
office@tlsc.osaka-u.ac.jp



TLSC

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント
プログラムガイド
Faculty Development Program Guide

2015年度 4月～9月



マップ
プログラム

教育学習支援センターが
実施している各種プログラムを
内容別に図示しているマップです。
ご関心のあるプログラムにぜひご参加ください。

教育学習支援センター (TLSC) の活動

教育学習支援センターでは、大学教員に対する教育支援を行っています。具体的には、授業の計画、実施、リフレクションというコースデザインサイクルのステップごとに、さまざまなプログラムを用意しています。ご自身の課題に応じて、最適なプログラムを選ぶことができます。また、各種プログラムは対面型のセミナーやワークショップだけでなく、いつでもどこでも学べるeラーニングでも提供されています。さらに個別のコンサルテーションサービスも提供されています。ご自身のスケジュールにあわせて、ご都合のよい学習方法を選択下さい。

	毎月	4月	5月	6月7月	8月	9月
1 week		4/3 (金) 15:00~17:00 (豊) 第1回目の授業でやるべきこと~学習動機を高め、授業を俯瞰させる方法~>P.4		6/4 (木) 13:00~14:30 (豊) 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる。授業をキャリア教育化する10の秘訣 >P.5		9月日程未定 CLE 講習会 (入門編、応用編) >P.3
2 week		4/10 (金) 13:00~15:00 (豊) 大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法 >P.5 4/10 (金) 15:15~17:15 (豊) 手軽にアクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法 >P.5		8/7 (金) 18:00~19:30 (豊) 若手教員のためのキャリアプランニングカフェ >P.7		9/9 (水) 14:30~16:30 (豊) 主体的な学びに向けた、学生のリフレクションを促す方法 >P.7
3 week		4/17 (金) 13:00~15:00 (豊) 基礎から学ぶ学習評価 >P.6 4/17 (金) 15:15~17:15 (豊) ルーブリック評価入門~時短・ブレない・公平な評価方法~>P.6	5/12 (火) 10:30~12:00 (吹) ノートPCで手軽ビデオ教材を作ってみませんか? >P.2 5/14 (木) 13:00~14:30 (豊) ノートPCで手軽ビデオ教材を作ってみませんか? >P.2 5/12 (火) 15:00~17:00 (豊) 学生の内発的な学びを促す方法~演劇ワークショップの技法を用いて~>P.4	8/10 (月) 14:40~16:10 (豊) 効果的なプレゼンに役立つ技法 >P.3		
4 week	●(木) 15:00~16:00 (豊) iPad カフェ >P.7		5/19 (火) 15:00~16:30 (豊) 科目中でのアカデミックライティング指導法 >P.4	6/22 (月) 13:00~15:00 (吹) 大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法 >P.5 6/22 (月) 15:15~17:15 (吹) 手軽にアクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法 >P.5	8/17 (月) 14:40~16:10 (豊) 授業資料の作成に役立つアプリケーションの活用法 >P.2	
5 week		5/25 (月) 13:00~14:30 (吹) 科目中でのアカデミックライティング指導法 >P.4 5/27 (水) 14:40~16:10 (吹) 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる。授業をキャリア	7/30 (木) 14:30~16:30 (豊) 目的に応じたグループ学習を授業に導入する方法 >P.6 8/26 (水) 13:30~15:00 (吹) オープンエデュケーションによる教育改善への取り組み >P.3 8/31 (月) 13:00~15:00 (吹) 基礎から学ぶ学習評価 >P.6 8/31 (月) 15:15~17:15 (吹) ルーブリック評価入門~時短・ブレない・公平な評価方法~>P.6	8/25 (火) 13:00~17:00 (豊) オンライン教材作成入門 >P.2 8/26 (水) 10:30~12:00 (豊) オープンエデュケーションによる教育改善への取り組み >P.3 8/26 (水) 13:30~15:00 (吹) オープンエデュケーションによる教育改善への取り組み >P.3 8/31 (月) 13:00~15:00 (吹) 基礎から学ぶ学習評価 >P.6		

コースデザインと実施サイクル



	1 計画・教材作成	2 教育方法	3 学習評価	4 リフレクション	
	授業の組み立てや教材作成の方法を学ぶプログラム	様々な教育方法を学ぶプログラム	学習の評価方法を学ぶプログラム	授業改善のためのふりかえりを学ぶプログラム	
	コース実施前	コース実施中	コース実施後		
セミナー・ワークショップ・eラーニング教材	>P.2 ノート PC でお手軽ビデオ教材を作ってみませんか? >P.2 授業資料の作成に役立つアプリケーションの活用法 >P.2 オンライン教材作成入門 >P.3 オープンエデュケーションによる教育改善への取り組み >P.3 効果的なプレゼンに役立つ技法 >P.3 CLE 講習会 (入門編、応用編)	>P.4 第1回目の授業でやるべきこと~学習動機を高め、授業を俯瞰させる方法~ >P.4 学生の内発的な学びを促す方法~演劇ワークショップの技法を用いて~ >P.4 科目中でのアカデミックライティング指導法 >P.5 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる。授業をキャリア教育化する10の秘訣 >P.5 手軽にアクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法 >P.5 大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法 >P.6 目的に応じたグループ学習を授業に導入する方法	>P.6 基礎から学ぶ学習評価 >P.6 ルーブリック評価入門~時短・ブレない・公平な評価方法~ >P.7 主体的な学びに向けた、学生のリフレクションを促す方法		
	>P.10 コースデザインワークショップ				
	>P.8-9 eラーニング教材				
	相談	>P.7 iPad カフェ >P.7 若手教員のためのキャリアプランニングカフェ >P.11 コンサルティングサービス			

◎コースデザインと実施サイクル

コース (授業科目) を目的・目標に基づいてデザインし、実際に教授し、さらに改善のためのリフレクションを行う一連のサイクルのことです。



セミナー

比較的短時間のプログラムです。
毎年開催している通例のものから
今期初めてのものまで様々取り揃えています。

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●ノートPCでお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

講師：黒田嘉宏（サイバーメディアセンター）…90分

定番!

◎豊中キャンパス

日時：5月14日(木) 13:00～14:30 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

◎吹田キャンパス

日時：5月12日(火) 10:30～12:00 会場：コンベンションセンター 研修室

(概要)

Echo パーソナルキャプチャ(ダウンロード可)を用いれば、お手持ちのPCでお手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトやCLEを通して学生に配信することができます。授業スライドを見せながら音声で解説を加えるビデオ教材を、予習や復習、補講等にご利用いただけます。また、カメラ(PC付属可)で教員の様子も同時に記録することも可能です。本ワークショップでは、ご自身のノートPCで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただきます。

*当日はノートPCをお持ち下さい。USBカメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。

*授業での公開をご希望の方は、参加申込みフォームの備考欄に「授業名」をお書き下さい。



●授業資料の作成に役立つアプリケーションの活用法

講師：浦田 悠（教育学習支援センター）…90分

New!

◎豊中キャンパス

日時：8月17日(月) 14:40～16:10 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

(概要)

「日々の講義資料作成に時間がかかりすぎてつい手を抜いてしまう」「資料の材料となる文献をうまく整理して授業に反映できない」などの問題は、多くの教員が慢性的に抱えている問題でしょう。しかし、様々なアプリケーションを組み合わせて活用すれば、資料作成の作業を飛躍的に効率化・深化させることができます。また、それらの

アプリケーションは、教育のみならず、研究を進める上でも同様に役立ちます。このセミナーでは、パソコン(主にMac)で利用できる教材作成の効率化に役立つアプリケーションを効果的に組み合わせる方法を紹介いたします。

●オンライン教材作成入門

講師：竹村治雄（サイバーメディアセンター）…240分

New!

◎豊中キャンパス

日時：8月25日(火) 13:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

(概要)

ご自身の授業をオンライン教材として、ブレンディッドラーニングや反転授業の教材として活用してみませんか？このセミナーではインターネットを用いたビデオ教材やMOOCやSPOCなどのオンライン教材作成のための基礎的な事項を、実際の演習をまじえながら紹介いたします。具体的には、オンライン教材の全体の構成手法、教材を

構成する各種要素、ビデオ教材の作成方法や作成ツールの紹介、効果的なクイズやテストの作成方法やそのためのツールの利用方法や作成したオンライン教材の授業への活用方法を演習をまじえて紹介いたします。

●オープンエデュケーションによる教育改善への取り組み

講師：竹村治雄（サイバーメディアセンター）…90分

定番!

◎豊中キャンパス

日時：8月26日(水) 10:30～12:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：8月26日(水) 13:30～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

(概要)

教育資源を無償で公開するOpen Educational Resource(OER)運動が世界的に進展しつつあります。大阪大学でも2005年よりオープンコースウェアを運営しています。また、大規模公開オンライン講座MOOCsが世界的な注目を集めています。本セミナーでは、Open Education, OCW, MOOCsに興味をもたれている教員を対象に、世界および日本の動向や、自分の講義教材をOERやOCWとして公開する際知っておくべきことなどを紹介します。また、これらを利用した教育改善の可能性についても紹介します。(講師は、Open Education Consortium Board member、日本オープンコースウェアコンソーシアム代表幹事、大阪大学OCW運営責任者です。)



●効果的なプレゼンに役立つ技法

講師：浦田 悠（教育学習支援センター）…90分

New!

◎豊中キャンパス

日時：8月10日(月) 14:40～16:10 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

(概要)

わかりやすく、目を引くスライドにしようとして、囲みやアニメーションを多用したり、派手な背景アートを使ったりしていませんか？あるいは、アプリケーションの操作がよくわからないために、単調な箇条書きだけのスライドを作っていませんか？このセミナーでは、後

期の授業でスライドをよりよいものになりたいという教員の方へMacのKeynoteやWindowsのPowerPointなどで効果的なプレゼン資料を作成するためのデザインの法則や役に立つ機能を紹介いたします。

●CLE講習会(入門編、応用編)

講師：情報メディア教育研究部門教員(サイバーメディアセンター)…110分

定番!

日時：9月実施予定 会場：未定

(概要)

CLEはWebを利用した授業支援ツールの一つです。講義資料のアップロードや課題の作成ができるだけでなく、グループ学習を活性化させるツールなどもあります。入門編では、教材のアップロー

ドなど、CLEの基本操作や便利機能についてご説明します。応用編では、コミュニケーション機能、統計情報についてご説明します。



●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●第1回目の授業でやるべきこと～学習動機を高め、授業を俯瞰させる方法～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

New!

◎豊中キャンパス

日時：4月3日(金) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉

第1回目の授業を、オリエンテーションをして早めに終了したり、概要はすでにシラバスに掲載していることを理由にすぐに授業を開始してしまいませんか？ 第1回目の授業は、学生の学習動機を高めるために、重要な機会です。第一に人間関係の緊張関係を低減すること（具体的には、教員と学生との距離を縮め、学生同士の人間関係の緊張を短時間で下げる）、第二に学習動機の緊張関係を高めること（具体的には、学期内の授業が終わるまで継続して知的探究心を維持するコース・クエストを問いかけること）で、学生の学習のスタートをより刺激的なものとすることができます。

*参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

●学生の内発的な学びを促す方法～演劇ワークショップの技法を用いて～

運行（コミュニケーションデザイン・センター）…120分

New!

◎豊中キャンパス

日時：5月12日(火) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

〈概要〉

学生の内発的な動機付けを促すことは、長きに渡る教育課題であります。本セミナーでは、海外の一流大学で、文理を問わず導入の進んでいるワークショップ手法や演劇の手法を用いて学生の動機づけを促す仕組みを紹介します。「コミュニケーションゲーム」は、授業の中ですぐに使えるようモジュール化した演劇ワークショッププログラムです。「演劇なんて観たこともやったこともない！」という教員も上手く授業に導入できるようにレクチャーします。

●科目の中でのアカデミックライティング指導法

講師：堀 一成（全学教育推進機構）…90分

定番!

◎豊中キャンパス

日時：5月19日(火) 15:00～16:30 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

◎吹田キャンパス

日時：5月25日(月) 13:00～14:30 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

学生へのアカデミックライティング指導は、特定の科目だけで完結するものでなく、すべての科目担当教員がその能力育成に気を配る必要があります。これまで図書館でのライティング講習会などでの指導経験から、最低限学生に伝えるべき内容と、その説明のテクニックについて紹介します。担当者は1年生対象の共通教育科目で課されるレポートの指導レベルを前提にお話ししますが、参加者からの情報提供において、専門科目の実験レポートや、卒論につながるゼミライティングの話題もディスカッションの対象に含めます。



●90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島明彦（教育学習支援センター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：6月4日(木) 13:00～14:30 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

◎吹田キャンパス

日時：5月27日(水) 14:40～16:10 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

一生懸命教えているのに学生のやる気が低い。そんなふう感じたことはありませんか？ 最近の学生は「この授業は将来の自分にとって役に立つ授業なのか？」ということに気にする傾向があります。大学での学びにコストパフォーマンスという感覚を持ち込むなんてケシカラン！と腹を立てていても仕方ない時代です。ところが、この問題、実は解決可能です。教える内容・量はそのままに、ほんの少し工夫するだけで、学生の受講態度が変わる、とっておきの秘訣があります。このセミナーでは、その秘訣を90分でお伝えします。



●手軽にアクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

定番!

◎豊中キャンパス

日時：4月10日(金) 15:15～17:15 会場：全学教育推進機構スチューデントcommons セミナー室1

◎吹田キャンパス

日時：6月22日(月) 15:15～17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

「アクティブ・ラーニングは自分の授業では無理！」と思っている方も多いかと思います。本セミナーでは、多様なアクティブ・ラーニングを促す教育技法を説明し、簡単に、手軽に講義法に取り入れる方法をお伝えします。予定している技法の例（「ペア・リーディング」「反転授業」「Think Pair and Share」「PBL」「間違い探し」「パスセッション」「EQ リスニング」）また技法と同時に、アクティブ・ラーニングの誤解を解くために、その意義についても再考します。参加者は一通り技法を学んだ後に、自らの授業に取り入れるために授業計画を立案します。*参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。



●大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：4月10日(金) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構スチューデントcommons セミナー室1

◎吹田キャンパス

日時：6月22日(月) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

大人数の講義法は数ある教育技法の中でも最も難易度の高いものです。大人数講義の担当者からは、「私語が多い」「資料配布やレポート採点がたいへん」という声が聞かれます。一方で、150人を超えると学生の満足度は高まるというデータもあります。大人数講義の特殊性を理解し、大人数を逆手に取る発想を用いれば、その雰囲気を変えることも可能です。今回は、誰にでも実践可能な30の授業技法を紹介しながら、大人数講義をもっと魅力的にする方法を考えます。大人数講義を担当されている方のみならず、これから担当する予定の方のご参加もお待ちしております。





●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●目的に応じたグループ学習を授業に導入する方法

講師：大山牧子（教育学習支援センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：7月30日(木) 14:30～16:30 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

〈概要〉

アクティブ・ラーニング型の授業が注目されて久しいです。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのか困っていませんか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施される様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。



●主体的な学びに向けた、学生のリフレクションを促す方法

講師：大山牧子（教育学習支援センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：9月9日(水) 14:30～16:30 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉

学生が主体的に学ぶためには、自らの学習をふりかえり、捉え直す「リフレクション」を促すことが有効です。リフレクションは、授業において学習したことを定着させるだけではなく、既存の知識と新たに習得した知識の接続を意識させることができます。本セミナー

では、授業の中で、学生のリフレクションを促すための観点やツールを用いた方法を紹介し、授業の中でどのように取り入れるのかを検討します。さらに、教員が自分自身のリフレクションを通して、授業改善を行う方法を紹介致します。

●基礎から学ぶ学習評価

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：4月17日(金) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構スチューデントcommons セミナー室1

◎吹田キャンパス

日時：8月31日(月) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

皆さんはどのような方法で、学生の学習を評価していますか。評価を変えることで、学生の学習時間や方法を大きく変えることができます。本プログラムでは、学習評価の原則、学習評価の公平性、学習評価の厳密化と効率化のためのツール、さまざまな評価方法、コ

ピー&ベストを防ぐ方法について学びます。改めてご自身の学習評価方法を見直し、公平性・厳密性と効率性の両方を満たすものとするためのヒントを持ち帰ることができます。

※参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

New!

●ルーブリック評価入門～時短・ブレない・公平な評価方法～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：4月17日(金) 15:15～17:15 会場：全学教育推進機構スチューデントcommons セミナー室1

◎吹田キャンパス

日時：8月31日(月) 15:15～17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれている気になったことはありませんか？評価にかける時間をもっと短縮できたらと思いませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、研修時間内に自らの授業で活用できるルーブリックを作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけではなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

※参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだノートPCを持参ください。持参できない場合はノートPCを貸し出しすることも可能です。ご相談ください。



定番!

若手教員のためのキャリアプランニングカフェ

講師：根岸千悠、大山牧子（教育学習支援センター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：8月7日(金) 18:00～19:30 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉

研究と教育のバランスや、学生とのコミュニケーション、効率的な事務作業の方法など悩んでいることはありませんか？3000人にいるはずの阪大教員。でも実際お会いしたことある先生はそんなに多くない、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。本セミナーでは、カフェのようなリラックスした雰囲気なか、少数で同じテーマを話しながら、悩みを共有し、解決策を探っていきます。終了後は場所を移しての懇親会も予定していますので、お気軽にご参加ください。



iPad カフェ

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構）…60分

◎豊中キャンパス

日時：毎月第4木曜日 15:00～16:00 会場：全学教育推進機構 HALC2 A棟 312

〈概要〉

iPadの活用方法、HALC (Handai Active Learning Classroom) の使い方、アプリ紹介や情報交換など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。これからiPadを使ってみたいという方も歓迎です。予約は不要です。(講師は、Apple Distinguished Educator 2013 に選ばれた教員です。)

※ご要望があれば講習会も行いますので、お気軽にお問い合わせください。希望日およびご希望の講習内容については、ウェブサイトの申込フォームの備考欄にお書きください。





●理論 ●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

●理論 ●計画・教材作成 ●教育方法 ●学習評価 ●リフレクション

実践的FDプログラムオンデマンド講義(全国私立大学FD連携フォーラム)

大学教員の4つのアカデミック・プラクティス(教育・研究・社会貢献・管理運営)に対して、系統的な理論や実践に関するオンデマンド講義が準備されています。

◎講義例

- **現代の高等教育** 講師: 金子 元久 ● 概論
「高等教育」と「大学」はどのように異なるのか。高等教育とは何か解説されています。「自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えること」ができるようになることを目指します。
- **大学評価論** 講師: 安岡 高志 ● 理論
大学評価は何のために行われるのか。大学評価が導入された背景は何か。国内外の背景や目的が解説されています。PDCAサイクルを機能させるための条件についても考察されています。
- **青年期の心理** 講師: 白井 利明 ● 理論
青年期の発達課題とは何か。青年期における葛藤の理解の仕方についての解説を受け、青年期の教育について発達の視点から考えていきます。
- **発達障害のある学生の学び**
—アスペルガー症候群を中心に— 講師: 荒木 穂積 ● 概論
発達障害の一つであるアスペルガー症候群の歴史と現状について学びます。アスペルガー症候群のある学生への学びの支援について理解を深めます。
- **研究者にできる多様なアウトリーチ活動の紹介** 講師: 半田 利弘 ● 概論
研究者が留意すべき表現上・演出上の注意点が解説され、アウトリーチ活動を効果的に実行できるようになるヒントをどのようにして見つけるか紹介されています。
- **大学教職員のための大学管理運営基礎** 講師: 肥塚 浩 ● 理論
大学管理運営において教職員が果たすべき役割とは何か。大学の使命と教職員の役割を考える際に、大学のミッションから教職員個人のレベルまで運動していることが解説されています。

- **近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理運営の新たな発想** 講師: 山本 真一 ● 概論
急速に進展している大学改革が、大学管理運営にとってどのような意味を持つのか。「大学教職員として、新たな状況に応じ管理運営上の適切な判断ができる能力」を養うことを目標としています。
- **アクティブ・ラーニングの理論と実践における課題** 講師: 三浦 真琴 ● 概論
アクティブ・ラーニングを実現するために提示された理論のうち、実践に資すると思われるものが紹介されています。「アクティブ・ラーニングを目指す授業をデザインできる」ことを目標としています。
- **高等教育における授業技術** 講師: 木野 茂 ● 概論
授業におけるコミュニケーションの差で授業効果が異なります。なぜ双方向型授業がよいのか。双方向型授業の具体的な例をあげながら説明されています。
- **学習教材作成における著作権等の理解** 講師: 坂井 知志 ● 理論
著作権法の原則を知識として学ぶとともに、著作権法を遵守しながら学習教材をどのように作成することが望ましいのかについての方法論も学びます。
- **学生授業評価の読み方と授業への活用** 講師: 安岡 高志 ● 理論
授業評価に関して先進国である米国の例を題材に、どのような因子がどのように影響するか学びます。また授業評価に関して、日本の学生の意見も紹介されています。
- **大学の授業の設計** 講師: 沖 裕貴 ● 概論
「カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切に到達目標(行動目標)を設定することができる」ことを目指し、行動目標に即した成績評価について考えていきます。

金沢電子出版 eラーニング教材

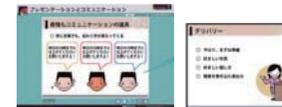
講義に活かせるFD講座[入門編]

先生のノウハウをさらに活かせるコツとは? 日々の講義に活かせる映像教材です。



授業に活かすプレゼンテーション

授業や講義でのより効果的なプレゼンテーションのための心構えと技術について分かりやすく解説しています。



- ● **「授業デザイン入門」—シラバスの書き方—** ● 概論
講師: 佐藤 浩章
- ● **「大人教講義入門」** ● 理論
講師: 小林 直人
- ● **「効果的なグループワークの進め方」** ● 理論
講師: 佐藤 浩章・小林 直人・野本 ひさ
- ● **「成績評価法」** ● 理論
講師: 野本 ひさ

- ● **第1章 コミュニケーションとプレゼンテーション** ● 概論
- ● **第2章 効果的なプレゼンテーションの構成** ● 概論
- ● **第3章 プレゼンテーションの構成** ● 概論
- ● **第4章 効果的なシート(パワーポイントを使って)** ● 概論
- ● **第5章 効果的なシート(静止画や動画の扱い方)** ● 概論
- ● **第6章 話し方と姿勢** ● 概論
- ● **第7章 アクシデントに対処する** ● 概論

大阪大学GFDプロジェクト「Let's teach in English」

大阪大学教員が「自信を持って英語で講義できる」ようになることを目的としたe-Learning教材です。

*大阪大学GFDプロジェクトとは、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のためのFDです。」



- ● **Internationalization of Education**
高等教育の国際化について学ぶための教材 ● 概論
- ● **Theory and Practice** ● 理論
英語による講義方法を学ぶための教材(自然科学分野・人文社会科学分野)
英語による討議方法を学ぶための教材(自然科学分野・人文社会科学分野)
- ● **Discipline-specific Approaches**
個別分野に特化した教材 ● 理論

大阪大学授業支援システム(CLE)「大阪大学FD研修 映像配信」

● ● ● ● ● ● 概論
全学ファカルティ・デベロップメント研修(全学FD)の映像を配信しています。現在、2009年度～2013年度の全学FDのビデオを公開しています。





ワークショップ

まとまった時間で
コースデザインを包括的に
学べます。

お申し込みはこちらから
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/seminar-application>
※ワークショップ修了者には「修了証書」が授与されます



コンサルティングサービス

授業やシラバス、教授法、
学習評価などに関する
様々なご相談を受けております。

コースデザインワークショップ

学習者中心の授業のデザイン方法と基本的な授業方法を学び、今後の授業の質の向上を目指します。目的とスケジュールに合わせて、好きなプログラムをお選びください。

2日コース(宿泊型)

ある学習テーマに基づき、グループで同一の共通教育科目を設計していきます。これから授業を担当する予定がある教員、チームティーチングやオムニバス科目を担当している教員、グループで課題を遂行する学習スタイルを好む教員に推奨します。

■日程

2015年8月20日(木)～21日(金)

■会場

スペースアルファ神戸(予定)

■プログラム

1日目(10:00～21:00)

- ◎授業の基盤となる学習観
- ◎シラバスの書き方
- ◎よりよい成績評価の仕方
- ◎様々な授業方法
- ◎コースデザイン
- ◎クラスデザイン
- ◎共通教育科目の開発
 - 目標設定
 - シラバス作成
 - 授業計画書

2日目(8:30～13:30)

- ◎ミニ授業の練習
- ◎ミニ授業

(参加者の声)

- 「シラバスの内容である目的・目標、講義内容、評価という流れの中には、一貫性があるはずだが、これまでは自分の感覚や慣例で作成してきたため、一貫性がなかったという事実が気が付くことができた」(医学系研究科・助教)
- 「様々な授業スタイルに触れることができ、私も授業スタイルを工夫してみようという気持ちになった」(工学研究科・助教)
- 「今回のワークショップを通して、自分が普段行っている授業とはだいぶ違う授業手法があることを目の当たりにした」(他大学・教授)

3日コース(通い型)

現在担当している授業もしくは担当予定の授業のシラバスをブラッシュアップしていきます。すでに授業経験があり、シラバスや授業方法を見直したい教員、個人で課題を遂行する学習スタイルを好む教員に推奨します。

■日程

2015年9月1日(火)～3日(木)

■会場

大阪大学豊中キャンパス

■プログラム

1日目(9:00～17:00)

- ◎授業の基盤となる学習観
- ◎シラバスの書き方
- ◎目標設定
- ◎コースデザイン
- ◎グラフィックシラバスの作成

2日目(9:00～17:00)

- ◎様々な授業方法
- ◎学習評価の基礎
- ◎クラスデザイン
- ◎授業計画書の作成

3日目(9:00～17:00)

- ◎ミニ授業の練習
- ◎ミニ授業

(参加者の声)

- 「プログラムの内容が良かった。シラバスの作成を中心に、オープンコースウェアやiPadを活用する授業の紹介まで幅広く、視野を広めることができました」(外国語学部・非常勤講師)
- 「自分の授業方法の改善点(字が小さい、時間配分、アイコンタクトの仕方など)が良く分かった」(全学教育推進機構・准教授)
- 「レポートの評価シートやシャトルカードなど、実際の授業にすぐに取り入れて使えるアイテムについて学ぶことができたのも、良かった」(他大学・准教授)

4日コース(通い型/英語)

学習者である学生の立場から教育をとらえ、講義の組み立て方や方法などについて、理論と実践を通して学びます。今後部局において教育の国際化やFDに積極的に関わることが期待される教員、英語でディスカッションしたい教員に推奨します。

■日程

2015年9月14日(月)～17日(木)

■会場

大阪大学吹田キャンパス

■プログラム

I.Course design(10:00～13:00)

- Day1:Course content
- Day2:Learning outcomes
- Day3:Instructional strategies
- Day4:Assessment methods & Next steps

II.Microteaching(14:00～17:00)

- Team A (Day1,Day3)
- Team B (Day2,Day4)

(参加者の声)

- 「全てのプログラムが大変なためになりました。特に、実習とビデオフィードバック、マイクロティーチングでよい経験を得ることができました」(工学研究科・教授)
- 「参加者の理解度や実践力を確認、高めるための問いかけやexerciseも工夫して適宜取り入れてあり、一方的な講義形式よりずっと分かりやすく、学習意欲も高まりました」(文学研究科・助教)
- 「It is new experience for me. It is very good to attend this workshop for those are willing to take teaching as their career」(International College Assistant Professor)

コンサルティングサービス

教育や指導に関してお困りのことはありませんか? 複数の内容を組み合わせでお申込みいただくことも可能です。随時、受け付けておりますので、教育学習支援センターのウェブサイトよりお気軽にご連絡ください。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/consuform>



自己流で授業デザインをしているため、自信が持てない



◎シラバスのブラッシュアップ

新たに授業を担当する際、もしくは教育内容を変更する際、実際のシラバス作成作業を通して、授業をどのようにデザインするかご支援します。



自分の授業に対して学生はどう思っているのだろうか?



◎MSF(Midterm Student Feedback)

TLSCのスタッフが授業に同行し、学生から授業に対するコメントを聞き取ります。授業終了後に、コメントをもとに改善策を一緒にご支援します。



他の先生がどのような授業をしているのか見たい



◎ピアレビュー

教員がお互いの授業を見学し、授業内容や方法について検討しあうことを通じて、授業を見直していくための場づくりを支援します。



自分の授業を客観的に見直したい



◎授業撮影

授業の風景をビデオで撮影し、ご希望の記録媒体でお渡しいたします。また、学生の受講状態や教室の雰囲気等について改善策と一緒に検討しましょう。



タブレット端末やスマートフォンを活用した新しい教授法を取り入れたい



◎ICT活用支援

ICT機器(パソコン、プロジェクタ、タブレット端末、携帯端末等)の操作や設置の方法、授業での活用の仕方などのご提案や、授業での設置をお手伝いします。



英語での講義を担当することになったのだが、不安を感じている



◎TIE(Teaching in English)支援

英語で教えるための方法やテクニック等についての情報提供やお手伝いをします。



研究室をうまくマネジメントできない。良いルール作りや指導方法を知りたい



◎研究室教育支援

研究室でのルールづくり、一年間の行事の設定など、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れた研究室運営に関する情報提供や研究室教育に関するご支援をします。



FDを企画・実施したいのだが、何から始めればよいのか分からない



◎FD担当者支援

各学部や学科において企画された内容に応じてFDの講師を派遣しますので、お気軽にお声がけください。また、当センターで対応できない場合は、学内外の講師のご紹介もします。



もっとインタラクティブな授業に挑戦したい



◎アクティブ・ラーニング型授業の取り入れ方

学生の能動的な学びを促すための方法やペアワーク・グループワークを取り入れた授業に関する情報提供をします。またアクティブ・ラーニング型授業に関するご相談に応じます。

その他、下記のようなご相談にもお応えしています

- アンケート作成について知りたい
- 学生向けワークショップを企画したい
- 教材の作成について知りたい
- echoシステムを利用してみたい



ニュース

教育学習支援センター(TLSC)の今をお届けします。セミナーやワークショップ等でお寄せいただいた参加者の声も紹介します。

◎セミナーレポート

教育学習支援センターでは、2014年度後期は累計20以上のFDセミナーを開催いたしました。その中から新しく開催された5つのセミナーをご紹介します。

90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣

大学授業の「質」が厳しく問われている昨今、授業における学生のやる気をどう引き出すのかということは重要なテーマになっています。10月16日、家島明彦講師(教育学習支援センター)により、授業をキャリア教育化する、学生の受講態度が変わる秘訣を学ぶセミナーが開催されました。

(参加者の声)

- キャリア教育という言葉の意味がわかった。授業で気を付けるべき項目のリストが明確ですぐに使えそう(基礎工学研究科・教員)
- キャリア専門の授業でなくてもキャリアを意識させる授業にするという事が、とてもインパクトがあり大切なことだと思った(学外・教員)



大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法

大人数講義は何かと大変という声はよく耳にします。しかし、その特殊性を理解し、大人数を逆手に取る発想を用いれば、その雰囲気を変えることも可能です。10月20日、佐藤浩章准教授(教育学習支援センター)により、大人数講義を魅力的にするための技法を学ぶセミナーが開催されました。

(参加者の声)

- 自分の授業の欠点を把握できた。授業に応用できるテクニックが得られた(人間科学研究科・教員)
- 具体的な授業改善の手法を学ぶことができた。他の先生の話からヒントになる方法を見つけることができた(学外・教員)



若手教員のためのキャリアプランニングカフェ

10月24日、若手教員同士、カフェのようなリラックスした雰囲気のなか日々の仕事について話し合い、アイデアを生み出していくキャリアプランニングカフェが大山牧子特任助教(教育学習支援センター)により、開催されました。

(参加者の声)

- リラックスした雰囲気では分野の方々と話ができ良かったです(学内・教員)
- 若手教員のネットワークが広がった。異なる研究領域の人との対話は面白い(学内・教員)



授業を分析的に振り返るための教育・学習理論

教育が依拠してきた学習理論や認識論は様々なものがあり、今なお変遷を続けています。12月22日、松河秀哉助教(全学教育推進機構)により、学習理論やそれに基づく教育方法を踏まえて、自分の授業を考えるセミナーが開催されました。

(参加者の声)

- 自分の業務に照らし合わせて内容を理解でき、業務での困り事を整理しつつ受講できたのが良かったです(学外・教員)



目的に応じたグループ学習を授業に導入する方法

注目されて久しいアクティブ・ラーニング型の授業ですが、そこで多く用いられるグループ学習には様々な種類があります。2月4日、大山牧子特任助教(教育学習支援センター)により、グループ学習の種類や特徴、授業の中でいかに導入するかを考えるセミナーが開催されました。

(参加者の声)

- セミナー内のグループディスカッションによって自分の授業でのグループ学習の導入について語りあえました(言語文化研究科・教員)
- 講義形式の授業でのグループワークの方法をどうするか、悩んでいましたので、参考になるもので有り難かったです(学外・教員)



◎大学院生向けプログラムの紹介

「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」始動！

2014年度から本格始動した「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」。大学教員を志望している大学院生(修士課程・博士課程)を対象に、大学教員として教壇に立つための様々なノウハウを学ぶ科目、「大学授業開発論I」(2単位)も2期目を迎えました。2学期の「大学授業開発論I」では様々な研究科から15名の大学院生が集まりました。2015年度からは大学院等高度副プログラムとしてスタートします。プログラムには以下の5つの科目が設定されています。

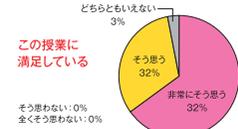
- ・大学授業開発論I(授業デザインと教育技法の学習)
- ・大学授業開発論II(高度な教育技法のトレーニング)
- ・大学授業開発論III(アカデミック・ポードフォリオの作成)
- ・学術的文章の作法とその指導(ライティング指導法のトレーニング)
- ・現代キャリアデザイン特論(キャリアデザインの方法と実践)

是非、大学教員を将来のキャリアとして考えている大学院生にお知らせください！

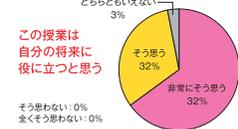
(参加者の声)

- 毎回、とても内容の濃い授業を受けさせていただき、ありがとうございました。「学ぶ楽しさ」「受け身ではない授業」はじめていろいろ学ぶことができました(医学系研究科・大学院生)
- 私は教員になりたいと思ってこの授業を受講したわけではありません。それでも、教育において重要なことを学ぶいい機会になりました(工学研究科・大学院生)

この授業に満足している



この授業は自分の将来に役に立つと思う



◎国際シンポジウム

大学カリキュラム改革の最前線—新しい時代に求められる能力と教養教育—
"The Front Line of Curriculum Innovation in Higher Education -New Competencies and General Education for the New Era-

国内外の大学で先進的に教養教育のカリキュラム改革に取り組んでいる専門家をお迎えし、新しい時代に求められる能力と教養教育について多角的に議論し、各大学がイノベティブなカリキュラムづくりに取り組む方策を探るシンポジウムを開催いたしました。学外参加者も含め約70名にご参加いただきました。

(参加者の声)

- 世界の教育の最先端の取り組みを知ることができる貴重な機会であった(学内・教員)
- 複数の視点から、またそれらが重なるように共有されていたことがとてもよかったと思います(国際教育交流センター・教員)
- 事例講演の中に私達が輸入すべきアイデアがちらりほめられていたと思う。取り扱われた事例と現在の日本の教育現場を照らし合わせることでより考察が深まると思った(学外・学生)



◎Transferable Skills Workshop『伝える力』

2月5日(水)に大学院生を対象としたTransferable Skills Workshopが開催されました。今回は「伝える力」をテーマに、論理的な文章で自己を表現するスキル、相手に気持ちよく話してもらおうスキル、話してもらった情報を表現するスキルなどを、他已紹介を行うワークを通して学びました。

(参加者の声)

- 来週、卒論発表会を迎えるにあたり、効果的なプレゼンをあらためて考える機会になった(外国語学部・学部生)
- 短い時間でプレゼンするにはスキルが必要だとあらためて感じた(医学系研究科・大学院生)
- 楽しかった。刺激をうけて様々なアイデアが生まれた(人間科学研究科・大学院生)



TLSC STAFF

わたしたちが、研修講師・コンサルタントを務めます。



竹村治雄
センター長
サイバーメディアセンター 教授
全学教育推進機構企画開発部長



佐藤浩章
副センター長
全学教育推進機構 准教授



堀 一成
副センター長
全学教育推進機構 准教授



家島明彦
教育学習支援センター 講師



浦田 悠
教育学習支援センター 特任講師



大山牧子
教育学習支援センター 特任助教



榎本千恵
教育学習支援センター 特任研究員



根岸千悠
教育学習支援センター 特任研究員



シング クムド ビラハム
教育学習支援センター 特任研究員



岩屋弘樹
全学教育推進機構 教授



兼松泰男
産学連携本部 教授



山口和也
全学教育推進機構 教授



黒田嘉宏
サイバーメディアセンター 准教授



西森年寿
人間科学研究科 准教授



有川友子
国際教育交流センター 教授



松行輝昌
全学教育推進機構 准教授



漁師みゆき
教育学習支援センター 特任研究員



嶋崎りさ子
教育学習支援センター 事務補佐員